

2016年度しょうえい幼稚園自己評価表 学校法人沼津頌栄学園 しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員10名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 創造（自由）保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造（自由）保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	---------------------------	--

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 よくできている ◎ できている ○ あまりできていない △ 全くできていない ×

	経営目標	評価項目	評価				達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
			◎	○	△	×			
つながる基礎	1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。	教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かにいき、子どもたちの心を落ち着かせる。	8	4			・2歳児なりの礼拝の仕方では聖書の言葉について話し合ったり、子どもたちから「○○のためにお祈りしよう！」という言葉が聞かれるようになった。 ・はじめは礼拝時落ち着かない姿も見られたが、教会のおばあちゃん先生から礼拝について聞いてから神様とお話する大切な時間として静かに礼拝を守ることが出来るようになった。 ・聖書の言葉について、それぞれの学年でわかりやすい言葉で考え話し合うことが出来ていてよいと思う。	・教会のおばあちゃんが役立っていて良いと思う。 ・0-2歳児も礼拝を取り入れていて良いと思う。	
		教師は、子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	5	7			・時計を見て子どもたちが自ら片づける姿がある。 ・教師が歌を歌ったりしながら一緒に行う。	・よくできていると思う。	
		教師は、子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	5	7			・お部屋や園での約束、ルールを作り皆で話し合っ決めて伝えた。	・良いと思う。	
		教師は子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	8	4			・一人ひとりの気持ちを受け止め、スキンシップをとりながら関わるようにした。	・だめなことをした時に同じ目線に立ってお話を聞いて感心した。	
		教師はできるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	9	3			・毎日必ず読み、子どもたちが読み聞かせを心待ちにするようになった。 ・毎日できていないクラスがある。	・お昼寝前に読んだりして良い。 ・毎日できるようにしたらなお良い。	
		教師は、絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさんの絵本と出会うよう努める。	6	6			・1日に2冊絵本を読み聞かせ、食後にも静かに絵本を読む時間を作っている。クラスで見た本を貸出時に選んでくれることも多く、嬉しく思う。 ・図書室によく行った。	・良いと思う。	
		教師は、子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるように促す。	5	7			・子どもの声から遊びや活動を広げているので、意欲的に取り組んでいる。	・こどもの意見から広がっていて良いと思う。	
		教師は、子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	5	7			・クラスだけでなく、異年齢での関わりも遊びを通して広がった。	・0歳児のお手伝いや一緒に遊んだりしているようで良いと思う。	
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、子どもたちが動物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。	2	4	6		・エサの当番でなくても、気にかける姿がみられた。 ・うさぎ、チャボの成長をみんなで感じたり、虫を捕まえて育てた。 ・動物の生命を普段から大切に、意識する。 ・えさやり以外にももう少し触れ合えると良かった。	・環境がしっかり整っているため、動物がいない園に比べて生命を感じられて良いと思う。	
		教師は、絵本などを通して子どもたちが平和への思いを強められるよう努める。		4	7	1		・平和についての絵本をもっと取り入れたい。低年齢児向けの本を知りたい。 ・戦争や平和の絵本も取り入れ、みんなで考える機会を作りたい。	・普通に遊んだり、ご飯を食べたりすること自体も平和だからできることだという身近な観点から話しても良いと思う。
		教師はそれぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	4	8				・柳詰先生にクラスに入って頂き、気になる面のフォローの仕方をアドバイスしてもらえて、とてもよかった。 ・同じクラスの教師同士で子どもの様子を話し合うよう努める。	・分け隔てなく接することが出来ていて良いと思う。
		教師は、子どもたちが自分の意見や考えを出すことができるよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じることができるよう促す。	4	8					・自分の意見を聞いてくれるという地盤がないと人の意見を聞いたりできないと思うのでそれができていて良いと思う。

	経営目標	評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
信頼される幼稚園	1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。	園は、しょうえいだより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	11	1				・引き続きお願いします。
		園は学期に1回保育参観を行う。	8	2		2	0~2歳児では行っていないので×	・3~5歳児は出来ているようなので良いと思う。
		保護者への講演会を年1回行う。	11	1				・引き続きお願いします。
		園はホームページ・フェイスブックで広く幼稚園を公開する。	3	6	2	1	・2歳児の活動で楽しいことをもっとアップしたかった。 ・園長先生が園外での様子をすぐアップして下さり良いと思う。もっと沢山の方に見て頂けるように工夫したい。 ・3~5歳児は出来ているが、0~2歳児はあまりできていない。	・引き続きお願いします。
		保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	4	8			・会えない保護者もいるので顔を合わせられない。 ・連絡帳や送迎時に園での様子を伝えるよう努めた。	・引き続きお願いします。
		園の行事を無理なく円滑に行う。	3	8	1			・できているようなので良いと思う。
		支援センターともだちの開放、未就園児の会「しょうえいであそぼうよ」、ショートステイなどを行い、園を広く知ってもらおう。	7	3	2			・色々な所に配布しているようなので良いと思う。
		日常の教師間の連絡体制	4	8			・0~2歳児教師会を増やしたい。 ・3学期から0~2歳児で週1回話し合うようにしている。 ・同じクラスの教師、他学年の教師、預かりの教師など何かあったときにすぐに連絡を取るよう心掛けた。 ・もっとスムーズな連絡体制をつくる。	・各担任が教師会にでられるような工夫があると良いと思う。